

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-243	高等学校	国語	言語文化	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	言文 050-901	言語文化 改訂版		

1. 編修の基本方針

- ・主体的・対話的で深い学びをととして、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるよう配慮する。
- ・言葉がもつ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身につけるとともに、生涯にわたって読書に親しむ態度を養い、我が国の文化や伝統に対する関心を育むことができるよう配慮する。
- ・教育基本法第2条に示された教育目標への対応に配慮しつつ、上代から現代に至る多様な言語文化の中から適切な話題・題材を提示して生徒の興味・関心を喚起し、言語活動をととして生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
現代文編 1 言語文化への視点 文字が見せてくれる唯一無二の瞬間／世界を見わたす窓	・言葉や書物のもつ文化的・伝統的な価値について理解を深めることをねらいとして、「文字が見せてくれる唯一無二の瞬間」「世界を見わたす窓」を収録した。(第1・5号)	pp. 9-20
2 言葉の紡ぐ世界 羅生門／〔展開〕羅城門の上層に登りて死人を見る盗人の語／ゼイナブの指	・小説における語り手の役割や場面の展開のしかたに対する理解を深めることをねらいとし、「羅生門」「ゼイナブの指」を収録した。(第1号) ・作品の影響関係を知り、我が国の伝統的言語文化への理解を深められるよう、「羅生門」とその翻案元である『今昔物語集』を位置づけた。(第1・5号)	pp. 21-52
3 伝統と美 短歌 十五首／俳句 十二句／〔展開〕実体の美と状況の美	・創造性を培い、自然を大切にする態度を養うとともに、我が国の言語文化への理解を深めることができるよう、季節や自然を愛でた短歌・俳句の名作を収録した。(第2・4・5号) ・日本の伝統的な美意識について理解を深めることをねらいとし、「実体の美と状況の美」を位置づけた。(第1・5号)	pp.53-68
4 表現の多様性 夢十夜／〔展開〕夢の通路／良識派	・作品に表れる象徴や寓意について理解を深めることをねらいとして、「夢十夜」「良識派」を収録した。(第1・3号) ・古くから受け継がれてきた伝統的な創作テーマについて理解を深めることをねらいとして、「夢の通路」を位置づけた。(第1・5号)	pp.69-80
5 日本と世界 青が消える (Losing Blue)／〔展開〕〈世界文学〉の時代における翻訳の重要性／サーカス／〔展開〕Circus	・世界における日本文学の受容について理解を深めることをねらいとし、「青が消える (Losing Blue)」「〈世界文学〉の時代における翻訳の重要性」を位置づけた。(第1・5号) ・翻訳をととして、我が国の言語文化についての理解を深めることをねらいとし、「サーカス」と英訳をあわせて位置づけた。(第1・5号)	pp.81-100
6 文学と人生 城の崎にて／セメント樽の中の手紙／わたしが一番きれいだったとき／〔展開〕はたちが敗戦	・作品の背景や、作品のもつメッセージなどについて理解を深めることをねらいとして、「城の崎にて」「セメント樽の中の手紙」「わたしが一番きれいだったとき」「はたちが敗戦」を収録した。(第1・5号)	pp. 101-123

探究 過去と向き合う ——言語文化と文字記録 明月記／方丈記／蒙古襲来絵詞 ／狂歌／東京銀座通電気燈建設 之図／震災日記より／コレガ人 間ナノデス／人類の花園／あい まいな日本の私	・生命を尊ぶ態度を養うとともに、我が国の言語文化への理解を深めることをねらいとして、さまざまな時代に書かれた文字の記録を収録した。(第 4・5 号)	pp. 124-126
古文編 1 古文に親しむ 私たちと古文／宇治拾遺物語／ 〔展開〕田舎の児、桜の散るを見 て泣くこと／〔展開〕地獄変／ 今昔物語集	・古文を読むための基礎的な知識を身に付け、古典作品の特質を知ること、話を展開がわかりやすい説話教材 4 本を収録し、古文学習へのスムーズな導入を図った。(第 1 号) ・近現代の文学にも影響を与えた説話の魅力を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp. 127-146
2 日常へのまなざし 徒然草／〔展開〕春はあけぼの ／〔展開〕日野山の閑居／枕草 子	・古人の豊かな情操にふれ、現代に繋がる伝統的な感性を意識することをねらいとし、随筆教材 3 作品 8 本を収録した。(第 1・5 号) ・我が国の自然風土と言語文化の密接な関係について理解を深めることをねらいとし、『徒然草』『枕草子』『方丈記』とも作者の自然観や美意識が表れた章段を収録した。(第 4 号)	pp. 147-163
探究 季節を感じる 春と秋——古典歳時記	・身の回りにある季節を感じるものを意識することをねらいとし、四季を代表する景物の写真を掲載した。(第 1・4 号) ・我が国の伝統的な季節感や美意識に気づき、考えることをねらいとし、さまざまな古典作品の季節感、美意識を取り上げ、現代の季節感にも触れた「春と秋—古典歳時記」を収録した。(第 5 号)	pp. 164-168
3 人との交わり 伊勢物語／〔展開〕かきつばた の折句／源氏物語への招待	・想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材 1 作品 3 本を収録した。(第 1 号) ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、我が国の代表的な歌物語である『伊勢物語』を収録し、また、世界的に読み継がれる『源氏物語』に触れられるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp. 169-184
4 想いを表す言葉 (一) 万葉集・古今和歌集・新古今和 歌集	・想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、三大大歌集より和歌教材 26 首を「恋するこころ」「四季の移ろい」「旅と別れ」のテーマごとに配列した。(第 1 号) ・生命を尊び、自然を大切にすることをねらいとし、我が国の四季折々の自然風土を詠んだ作品を収録した。(第 4 号) ・和歌の修辞や歌集の特徴について知り、我が国の伝統文化への興味・関心を喚起し、理解が深められるよう配慮した。(第 5 号)	pp. 185-198
5 語り継がれる歴史 平家物語／〔展開〕吾妻鏡	・リズムカルな文体をもつ軍記作品にふれ、正義と責任、自他の敬愛を重んずる態度を養うことをねらいとし、義仲主従の最期を描いた「木曾の最期」を収録した。(第 1・3 号) ・歴史的な出来事が歴史書ではどのような形で扱われているか知り、物語作品と比較することをねらいとし、『吾妻鏡』を位置づけた。(第 1 号) ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、『平家物語』が後世の文化や芸能に与えた影響について紹介するコラムを設けるなど、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp. 199-212
6 旅と人生 土佐日記／更級日記／おくのほ そ道／〔展開〕春夜宴桃李園序	・当時の旅の様子や暦、時刻、方位など古典に関する幅広い知識を身につけ、豊かな情操を培うとともに、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、仮名日記文学の先駆としての『土佐日記』から 1 本、『更級日記』から 1 本、近世の俳諧紀行文『おくのほそ道』から 4 本の教材を収録した。(第 1・5 号) ・我が国の伝統的な言語文化と外国の文化との関係を理解することをねらいとし、「春夜宴桃李園序」を位置づけた。(第 1・5 号)	pp. 213-230
漢文編 1 漢文に親しむ 私たちと漢文／訓読／返り点／ 再読文字／助字／訓読に親しむ	・漢文を読むための基礎的な知識を身に付けることをねらいとし、例文を豊富に収録し、漢文学習へのスムーズな導入を図った。(第 1 号) ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、漢字漢文の伝来の歴史と、漢文が我が国の文化を形成発展させる上で果たした役割について具体的な写真資料や近代以降の文章とともに示した。(第 5 号)	pp. 231-244

2 現代に生きる言葉 推蔽／〔展開〕漢文から生まれた言葉「圧巻」／蛇足／借虎威／完璧	・幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、現代でも使われる言い回しのもととなった故事 4 本を収録し、あわせて現代での使用例や意味の変遷についての文章を収録した。(第 1 号) ・訓読を通じて、中国の歴史書の表現の特徴と我が国に与えた影響を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp. 245-256
3 歴史の中の知恵 先従隗始／鶏鳴狗盗／〔展開〕鶏が鳴く／臥薪嘗胆	・歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことをねらいとし、史話教材 3 本を収録した。(第 3 号) ・訓読を通じて、中国の歴史書の表現の特徴と我が国に与えた影響を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp. 257-268
4 想いを表す言葉〈二〉 漢詩 十一首／〔展開〕航西日記	・想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、唐詩の名作 10 首と日本漢詩 1 首を収録した。(第 1・5 号) ・漢詩が日本文学に与えた影響について理解を深めることをねらいとし、日本人が漢文で綴った日記を位置づけた。(第 1・5 号) ・漢語の特色を活かして緊密に構成された韻文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp. 269-284
5 人生の指針 論語／〔展開〕孔子の「仁」／〔展開〕川上の嘆	・伝統的な言語文化に対する幅広い知識と、真理を求める態度を養うことをねらいとし、中国古典を代表する書物であり、日本人の精神形成にも影響を与え続ける『論語』15 章を配列した。(第 1 号) ・作品の内容理解を深めるとともに、自分の考えを形成することをねらいとし、『論語』のさまざまな時代の解釈 3 本を位置づけた。(第 1・5 号)	pp. 285-296
6 文学と社会 雑説／黔之驢／人面桃花	・達意の名文として知られる韓愈、柳宗元の文章の訓読を通じて、真理を求める態度を養い、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 1・5 号) ・高校生の心情に訴える恋愛物語「人面桃花」の訓読を通じて、想像力や豊かな情操を養い、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 1・5 号)	pp. 297-307
探究 物語の書き出し 竹取物語／伊勢物語／源氏物語／人虎伝／山月記	・さまざまな国、時代の物語作品と、歴史書の書き出しを比較することで、文書の種類ごとの特徴をとらえられる教材を収録した。(第 1 号) ・中国古典作品と、その翻案である近代日本文学作品の冒頭を読み比べることで、両者の共通点と相違点を知り、日本文学が中国文学の影響を受け発展してきたことを学び取れるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp.308-310

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点

- ・現代文編においては、文学作品とともに、関連したテーマの評論文や随想作品を配し、生徒の読みに多様な視点を持たせられるようにした。また、「解釈の視点」として、文学作品を読む際の基礎的な知識や留意点をまとめたコラムを設け、読解力を養えるよう配慮した。
- ・古文編・漢文編においては、古典作品とともに、近代、現代の作品や文化との繋がりを感じられるような近現代の文章を配置し、我が国の言語文化への理解を深められるよう工夫した。また、「解釈の視点」として、教材文を例に古典を読むための基礎知識を整理したコラムを設けた。
- ・「言語文化の窓」として、教材や単元に関連する知識や関連して知っておきたい古典常識などを紹介するコラムを設け、作品がより身近に感じられるよう工夫した。また、適宜書籍を紹介するコラムを設け、幅広い知識を身に付けるとともに、読書に親しむ態度を育成できるよう工夫した。
- ・資料編においては、文学の流れ・古文の舞台・暮らし・時間等に関する写真資料や地図を豊富に示し、それぞれの作品世界により親しみやすくなるよう配慮した。また、巻頭・巻末には、世界の言語文化、日本の伝統文化に興味を広げられるよう、教材にも関連のある図版資料を豊富に掲載し、生徒の興味関心を高められるようにした。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-243	高等学校	国語	言語文化	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	言文 050-901	言語文化 改訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●基本方針

- 主体的・対話的で深い学びをとおして、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるよう配慮する。
- 言葉がもつ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身につけるとともに、生涯にわたって読書に親しむ態度を養い、我が国の文化や伝統に対する関心を育むことができるよう配慮する。
- 学習指導要領に示された教育目標への対応に配慮しつつ、上代から現代に至る多様な言語文化の中から適切な話題や題材を提示して生徒の興味・関心を喚起し、言語活動をとおして生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

●構成

単元構成は、それぞれにテーマと目標を設け、教材のジャンルにも配慮しながら編成した。学習の便宜のため、現代文編、古文編、漢文編にわけ、上古から現代までの文学作品を中心とした文章に触れられるように配慮した。

また、「解釈の視点」を適宜配置し、教材の読解に資するようにした。

●教材選択にあたっての配慮

- 現代文編では、言語文化への理解を深められるよう、近代から現代までの多様なテーマをもった作品を収録し、単元のテーマにあった評論文・エッセイも併せて採録した。
- 古文編・漢文編では、基本的な名作・名文を精選して収録するとともに、教材理解を深めるため古典に関連した近代以降の文章を収録し、我が国の言語文化への興味関心を喚起し、理解を深められるよう配慮した。

●教材化の工夫

1 読解の基礎が身に付く教科書の基本設計

- 単元扉に「単元の目標」、教材冒頭に「目標」を掲げ、学習内容を明確化できるようにした。
- 教材中の「脚問」をとおして、その教材で身に付けたい基礎的な読解力を養い、その力をもとに、教材全体の理解力を測る「学習のポイント」に取り組む構成とし、着実に学習の定着をはかれるようにした。
- 単元扉に「単元課題」を設け、単元の目標の達成度を測るとともに、他教材との比較読みをうながすようにした。
- 語句・漢字の学習に役立つ「語句・漢字」欄を見開きごとに配置。読み替えや同音異義語、対義語などの情報も充実させ、「学習のポイント」の「語句と表現」欄とあわせて、漢字・語彙の学習に資するようにした。
- 古文編、漢文編の脚注欄では、人名には「人」、地名には「地」、補足的な情報には「補」の記号を示した。また「重要古語」「訓読で注意する文字」に印を付け、巻末で一覧できるようにした。さらに、「古文のきまり」「句法」欄を設け、その教材で特に注意したい文法事項を示し、学習に資するようにした。

2 言語文化への興味喚起

- 教科書全体を通し、言語文化の広がりを実感できるよう、作品の世界を多角的に紹介する「言語文化の窓」、言葉に関する知識を紹介する「言葉のタネ」を設け、教材から興味を広げられるように工夫した。
- 作品と併せて学習する「展開」を設け、関連する別の作品を読んだり、関連するテーマについて調査したりすることで、作品の理解や自分の考えを深められるよう工夫した。
- 「探究」コーナーを3か所に設置し、テーマごとに複数の作品や資料を比較して読むことで、学習を深められるよう工夫した。
- 現代文編では、作品に関わりの深い古典作品や、作品の成立背景を深める文章を掲載し、時代や地域による広がりをつながりを感じられるように配慮した。
- 古文編、漢文編それぞれに、各作品の読解に資する近現代の文章や、翻案作品などを掲載し、古典作品を多様な視点から読解できるように工夫した。

●資料編の充実

- 古典に関する写真資料や地図などを豊富に掲載し、教材文との関連を示すことで教材の理解をより深められるように配慮した。
- 名文に親しみ、歴史的な文体の変遷についても理解を深められるよう、「日本名文選」を設置した。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容																該当箇所	配当 時数								
		知識及び技能								思考力、判断力、表現力等																	
										A 書くこと				B 読むこと													
										(1)		(2)		(1)		(2)											
		ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア	イ	ア	ア	イ			ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ
[現代文編]																											
1 言語文化 への視点	文字が見せてくれる唯一無二の瞬間	○	○	○	○		○							○	○			○	○						p. 9～20	A:0 B:1 計1	
	世界を見わたす窓	○	○	○	○		○							○	○			○	○	○							
2 言葉の紡ぐ世界	羅生門	○	○	○	○		○							○			○	○		○	○			○	p. 21～52	A:0 B:5 計5	
	〈展開〉羅城門の上層に登りて死人を見る盗人の語	○					○	○	○	○				○	○	○	○			○			○				
	ゼイナブの指	○	○	○	○		○							○	○	○	○		○								
	〈解釈の視点〉①	○		○	○		○										○			○							
	〈言語文化の窓〉①	○		○			○	○	○			○															
3 伝統と美	短歌 十五首	○	○	○	○	○	○						○	○	○	○	○		○		○		○	○	p. 53～68	A:1 B:1.5 計2.5	
	俳句 十二句	○	○	○	○	○	○						○	○	○	○	○		○		○		○	○			
	〈展開〉実体の美と状況の美	○	○	○	○		○	○	○	○				○	○		○	○	○	○							
	〈解釈の視点〉②	○		○	○	○	○										○			○				○			
	〈言語文化の窓〉②	○		○			○				○																
4 表現の多様性	夢十夜	○	○	○	○		○							○	○	○		○		○					p. 69～80	A:0 B:3.5 計3.5	
	〈展開〉夢の通路	○	○	○	○	○				○				○	○		○	○	○		○		○				
	良識派	○	○	○	○		○							○	○	○	○	○		○							
	〈解釈の視点〉③	○		○	○		○										○			○							
	〈言語文化の窓〉③	○		○			○	○	○			○															
5 日本と世界	青が消える	○	○	○	○		○							○	○	○		○		○					p. 81～100	A:0 B:2.5 計2.5	
	〈展開〉〈世界文学〉の時代における翻訳の重要性	○	○	○	○		○							○	○		○	○	○								
	サーカス	○	○	○	○	○	○							○		○	○	○		○				○			
	〈展開〉Circus	○		○	○	○	○							○		○	○	○	○	○	○			○			
	〈解釈の視点〉④	○		○	○		○											○		○							
	〈言語文化の窓〉④	○		○			○				○																
6 文学と人生	城の崎にて	○	○	○	○		○							○	○	○	○	○		○					p. 101～126	A:1.5 B:6 計7.5	
	セメント樽の中の手紙	○	○	○	○		○							○	○	○	○	○		○							
	わたしが一番きれいだったとき	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○		○							
	〈展開〉はたちが敗戦	○	○	○	○	○	○							○	○		○	○		○							
	〈解釈の視点〉⑤	○		○	○		○											○		○							
	探究 言語文化と記録	○		○	○		○	○	○	○				○	○	○	○	○		○	○						
[古文編]																											
1 古文に親しむ	私たちと古文	○					○	○	○					○				○							p. 127～146	A:0.5 B:4 計4.5	
	宇治拾遺物語		○										○		○	○	○		○								
	〈展開〉田舎の児、桜の散るを見て泣くこと																	○		○							
	〈解釈の視点〉①																										
	〈展開〉地獄変			○												○		○	○				○				
	今昔物語集			○	○									○		○	○	○		○							
〈解釈の視点〉②																											
2 自然へのまなざし	徒然草			○	○								○		○	○	○	○		○		○	○		○	p. 147～168	A:1.5 B:4 計5.5
	〈解釈の視点〉③																										
	〈展開〉春はあけぼの／日野山の閑居			○	○									○		○	○	○	○	○		○	○		○		
	枕草子																						○	○			
	〈解釈の視点〉④																										
	探究 季節を感じる			○	○									○	○	○	○	○		○	○	○	○		○		
3 人との交わり	伊勢物語					○	○	○	○					○	○	○	○	○							p. 169～184	A:0 B:4 計4	
	〈解釈の視点〉⑤						○	○	○																		
	〈展開〉かきつばたの折句			○			○	○	○					○		○	○	○	○				○				
	〈言語文化の窓〉①						○	○	○										○					○			
	源氏物語への招待						○	○	○							○		○	○	○							
4 想いを表す言葉(一)	万葉集・古今和歌集・新古今和歌集			○		○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	p. 185～198	A:0.5 B:1.5 計2	
	狂おしい恋心			○	○	○	○	○	○					○	○		○	○	○	○							
	恋の始まり			○	○	○	○	○	○					○	○		○	○	○	○							
	見立て			○	○	○	○	○	○					○	○		○	○	○	○							

図書の構成・内容		学習指導要領の内容																該当箇所	配当 時数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		知識及び技能								思考力、判断力、表現力等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
										A 書くこと				B 読むこと																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
														(1) (2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
(1)				(2)				(1)	(2)	(1)				(2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア	イ	ア	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	赴任か帰京か		○	○	○	○	○	○	○	○					○	○		○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

総計 70